

2013

【応募期間】 2013年8月16日～9月12日

【応募状況】 15校（県内6、県外9）、895件（1,196人）

【審査結果】

《グランプリ》

愛媛つながりコーディネート

谷翔耀・森田雄飛・飯尾優璃香・小林寛子・惟高菜摘・田原樹・
大森万凜・藤井沙衣・小野奈々実

（愛媛県立松山商業高等学校3年・2年）

《特別賞（大分合同新聞社賞）》

OPEN SHUTTER PROJECT

相葉直彦・石田健吾（宮崎県立都城商業高等学校3年）

《夢発展賞（大分県教育委員会教育長賞）》

ポケット日本

甲斐涼子・甲斐彩子・奈須史恵・飯干麗・佐藤大介（宮崎県立高千穂高等学校3年）

《優秀賞》

楽々チャリ発見！

永野優花（大分県立大分商業高等学校1年）

おしゃべりカレンダー

指宿由希子（宮崎県立都城商業高等学校1年）

《奨励賞》

まるごとしいたけバーガー

薬師寺真由・水間好美・中山大地（大分県立大分商業高等学校3年）

「匠学校」入学制度

平岡那美子（宮崎県立宮崎商業高等学校1年）

《努力賞》

ひとりえらびカード！！

村上春歌（愛媛県立今治北高等学校1年）

魔法のつえ

山口紗也加・萩原千晶・門松拓海・田中滉人（大分県立大分雄城台高等学校2年）

キンカン凝縮プリン

齋藤真奈華（宮崎県立宮崎商業高等学校1年）



Win-Winの関係

★ 観光客

- おもてなしを受ける
- 愛媛を満喫

★ 愛媛県

- 観光客の増加
- 知名度UP

★ 宿泊施設

- 宿泊客の増加

★ コーディネーター

- 余暇時間の利用
- 地域通貨の獲得

★ 地元の商店

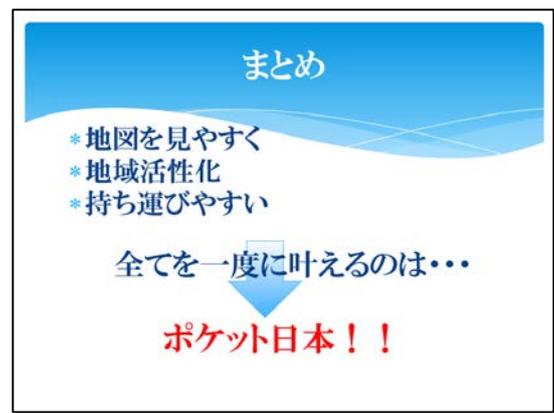
- 地域通貨で売上UP



愛媛つながりコーディネート



OPEN SHUTTER PROJECT



ポケット日本

【審査講評(抜粋)】

審査の結果、グランプリには、谷 翔耀さんのグループ（愛媛県立松山商業高等学校 3年・2年）の「愛媛つながりコーディネート」が選ばれました。このアイデアは愛媛の観光資源と案内人（コーディネーター）をウェブ上に示し、観光客が案内人を選択し、観光地と一緒に訪れるというものです。このようなコーディネーターの「おもてなし」を中心とした観光案内の仕組みが評価されました。

次に、大分合同新聞社賞には、相葉直彦さんのグループ（宮崎県立都城商業高等学校 3年）の「OPEN SHUTTER PROJECT」が選ばれました。このアイデアは、キャッチフレーズの「起死回生～街と心に活気を」からわかるように、街の活性化を図るものです。特徴は、地元都城の特産品を用いた「あかチキン南バーガー」などを物産館で販売し、商店街の活性化を行うことです。

そして、大分県教育委員会教育長賞には、甲斐涼子さんのグループ（宮崎県立高千穂高等学校 3年）の「ポケット日本」が選ばれました。これは地域住民参加型の地図アプリであり、写真やコメントの投稿により、情報が追加されます。また、英語や中国語などの翻訳ページがあり外国人観光客にも対応しています。このような地元情報の発信の仕組みが評価されました。

その他の7作品は、新規性などの観点から評価し、優秀賞、奨励賞、努力賞を決めました。

近年、新しい製品やサービスの開発、地域づくりのアイデアの創造は、企業や自治体において課題となっています。また、少子高齢化社会や人口減少時代から生まれる課題に対して、それを解決するアイデアが求められています。アイデアの商品化や地域づくりについては、経営学、地域経営論などに関する本を探してみてください。考案したアイデアは、インターネットで類似品はないか、類似品があれば改善すべき点はないかなどを検討してください。もちろん、友人や家族の方々、先生にアドバイスを求めても良いと思います。